

紀要の発行

当館では、美術館建設準備室時代の昭和58年度に第1号を刊行して以来、ほぼ毎年一回のペースで紀要を刊行してきた。

紀要刊行の目的は、美術館活動の基盤となる学芸員の研究成果を広く公開し、館藏品を中心とした美術作品の研究の進展に寄与することである。研究対象は主として館藏品であるが、各学芸員の研究意欲に従い、広く美術及び美術館をとりまく諸問題を扱う。

刊行された紀要は、美術館・大学をはじめとする全国の研究機関、研究者等へ配布された。

■第20号

29.7×21.0cm 83ページ

平成17年3月31日発行



■第20号内容

・口絵図版

- オーギュスト・ロダン《拷問の庭》
- 狩野探幽《七賢九老図屏風》
- 朝岡愛次《七賢九老図屏風模本》
- 狩野探幽《一ノ谷合戦・二度之懸図屏風》
- 《武者絵屏風模本》
- 石田幽汀《群鶴図屏風》
- 和田英作《富士》

・論文

南 美幸

- ロダンのデッサンの普及に関する一考察
- オクターヴ・ミルボー著『拷問の庭』

挿絵制作の意図

山下善也

- 石田幽汀筆《群鶴図屏風》にみられる

ツルの種類と制作年

山下善也

- 模写された狩野探幽の絵画

—当館蔵探幽画に関連する

東京芸大蔵模本の紹介と展開—

泰井 良

- 和田英作《富士》について

—その制作姿勢と位置付け—

・各論文英文レジュメ